



ものづくり ひとづくり 未来づくり

国立大学法人

名古屋工業大学

名古屋工業大学ソーラーカー部が 10月18～25日オーストラリアで行わる 「ブリヂストン ワールドソーラーチャレンジ 2015」に初参戦

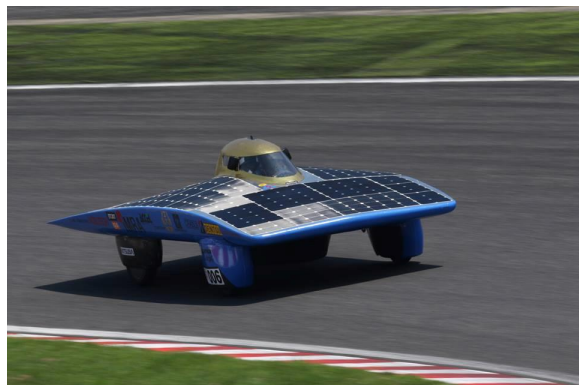
名古屋工業大学ソーラーカー部が、10月18～25日にオーストラリアで開催される世界最高峰のソーラーカーレース「ブリヂストン ワールドソーラーチャレンジ(WSC)2015」に初参戦します。

1987年に始まった本大会は今年で13回目、ダーウィンからアデレードまでの過酷な約3,000kmを太陽光で充電しながら完走を目指す、究極のエネルギーマネジメントを競うレースです。ダーウィン出発後は、毎日午前8時から午後5時まで出来る限り距離を伸ばし、砂漠の中でキャンプ宿泊、決められた7ヶ所チェックポイントを通過しながらアデレードまでの到着を競います。

出場チームは全部で46チーム、日本からは名古屋工業大学、東海大学、金沢工業大学は出発後、太陽光のみから充電し、到着までに要した時間を競うチャレンジャークラス、工学院大学は4つの要素（太陽光以外のエネルギーの使用状況、ゴールまでの所要時間、ドライバー1人当たりの走行距離、実用性）のスコアを競うクルーザークラスにエントリー、そして唯一の高校、広島県の呉港高校がチャレンジャークラス参戦、計5つのチームがレースに挑みます。

今回の名古屋工業大学のチームは9名のソーラーカー部員に加え、3名のE.S.S.（英語研究会）のメンバーもチームに加わり、芦屋大学の羽藤正秋先生を監督に、IMRA America, Inc. 城ノ口秀樹氏を技術顧問に、さらには呉港高校の山田修司先生という強力なサポーターと共に参戦します。また、車両 Horizon Z の設計と製作にあたり、炭素繊維複合材料には三菱レイヨン株式会社様、3D CADにはソリッドワークス・ジャパン株式会社様、サスペンションには名古屋発條工業株式会社様、金属部品製作には井上製作所様、マグネシウムホイールには TAN-ei-sya wheel supply 様にご協力を頂いております。

名古屋工業大学ソーラーカー部は1992年の活動開始以来、地球規模で広く物事を考えるグローバル人材の育成を目的に、日頃の学業で得た知識や技術をものづくりに活かし、ソーラーカーを通じて環境保護の意識を世の中にアピールしています。



参戦車両 Horizon Z

【この件に関するお問合せ】

国立大学法人名古屋工業大学 広報室

Tel: 052-735-5647

E-mail: pr@adm.nitech.ac.jp